

大型店舗内の火災奏功事例

平成19年6月1日(火)午前1時12分頃、国道36号線に沿った大型店舗内（耐火構造2階建て、延べ14,728㎡）のほぼ中央付近に位置するコンセントより出火しました。

火災の発生状況ですが、店内に設置されている煙感知器の発報により契約警備会社が臨場し、店内の異臭を確認後に119番通報されている状況でした。

出火箇所は、店内中央付近に位置する支柱に敷設されているコンセントより出火しており、同中央付近では各地の物産店と称して特設コーナーが設けられ、陳列台の上に防災製品の幕（テトロンボンジ（ポリエステル100%））を敷いて商品を販売しておりました。出火原因はこの幕の一部がコンセントと差し込みプラグの隙間に接触しプラグの刃の間で火花放電が繰り返され火災に至ったものと推定しておりますが、幸いにも幕は防災製品を使用していたことから、燃え広がることなく幕の一部を焦がしただけで被害を最小限度に抑えることができました。

(焼損程度については小火)



コンセントと差し込みプラグの隙間に幕が接触した位置



陳列台の上で使用されていた防災製品の幕（テトロンボンジ（ポリエステル100%））
平成16年9月に納品
認定番号 F10034



コンセントと陳列台の位置関係



壁面にコンセントが付設



幕についていた防災製品ラベル

防災幕が火災の拡大を防いだ事例

平成20年10月3日（金）午前11時5分ごろ、名古屋市天白区内の養護学校の体育館の舞台上手の袖部分から出火。付近に置かれていた体育の授業で使用する自作の段ボール製のゴールポスト、演台、花瓶台、厚さ30cm程度の体育用マット、幕類が焼損する火災がありました。

幸い、自動火災報知設備により火災を覚知した自衛消防隊の初期消火活動が迅速だったため、消火器15本、水バケツ5杯の使用により、ほぼ消火に成功し、その後、現場に到着した消防隊により完全に鎮火したものです。

舞台上使用する幕類が全て防災物品であったため、幕類の一部を焦がしたものの建物全体への延焼を防止することができました。

また、自衛消防隊の的確な避難誘導により、生徒及び教職員は校庭に避難し、全員無事でした。



舞台上手の出火箇所と幕類の状況



焼失した段ボール・木製品と焼け縮んだ中袖幕

火災原因と今後の火災予防対策については次のとおりです。

出火当時、体育館は無人で使用されておらず、出火場所周辺には何ら火の気が無いことから、火災の原因は、何者かによる放火と推定されています。

当養護学校では、体育館の扉の一部が未施錠で、部外者が誰でも容易に館内へ侵入できる状態であったとのことでした。

区内に多数の学校や老人福祉施設等を有する天白消防署では、関係者や防火管理者に対し、名古屋市内では放火が火災原因のワースト1であることについての再認識・不要な可燃物の除去・使用していない箇所の施錠・施設内への部外者の侵入防止対策の推進をより一層呼びかけていきたいと考えています。

また、今回の火災では、防災対象物品の性能が改めて立証されました。舞台袖部分

に置かれていた相当量の段ボールや木製品が焼損しているにもかかわらず、幕類は噴出する火炎に良く耐え、前引幕1枚、中袖幕3枚、カスミ幕3枚が防災対象物品特有の焼け縮みを起こしただけで、建物の躯体への延焼を阻止しました。関係者も「防災ってこんなに効果があるんですね。」と驚嘆の声を上げていました。

住宅火災による焼死事故防止対策の切り札として、住宅用火災警報器の設置が義務付けられ、その効果により人命・財産が救われた事例が多数報告されています。今回の防災対象物品の奏功事例は、法令に規定されている防災防火対象物のみならず、一般家庭においても防災製品が十分な効果を発揮し、火災の拡大を抑止するであろうことを示唆しています。住宅用火災警報器と併せて、カーテン・寝具などの防災製品を活用し、住宅防火対策のレベルアップを図りましょう。



火災原因調査の風景



前引幕の防災物品ラベル



前引幕、中袖幕の状況